

## 講座「まなびはく」

# 美術館を雑種にする

入場  
無料

**2026年9月6日 [日] 14:00-15:30**

**芦屋市立美術博物館 講義室 定員80名 \*申込不要**

これまで自分のプロフィールに、「マンガ、大衆誌、広告ほか雑種的な複製文化と美術を交流させる領域横断的な展覧会を企画」とか、「ファインアートとその周縁に流動する視覚文化を調査研究」など書いてきました。雑種や周縁に属するものにとずっと関心を寄せながら学芸員としてやってきたこと、そのなかで考えてきたこと、これからやろうとしていることをお話します。(成相)

講師：

**成相 肇** (東京国立近代美術館主任研究員)

1979年生まれ。一橋大学言語社会研究科修了。府中市美術館学芸員、東京ステーションギャラリー学芸員を経て2021年から現職。戦後日本のアヴァンギャルド芸術を中心に、ファインアートとその周縁に流動する視覚文化を調査研究。マンガ、大衆誌、広告ほか雑種的な複製文化と美術を交流させる、領域横断・拡大的な展覧会を企画。主な企画展に「石子順造の世界—美術・マンガ・経由・キッシュ行」(2011-12年、府中市美術館、第24回倫理美術奨励賞)、「ディスカバー・ディスカバー・ジャパン「遠く」へ行きたい」(2014年、東京ステーションギャラリー)、「パロディ、二重の声——日本の1970年代前後左右」(2017年、同)など。主な論考に「俗悪の栄え——漫画と美術の微妙な関係」『実験場1950s』(東京国立近代美術館、2012年)など。



東京駅で上野のパロディをする成相氏(2017)

### 次回予告

ワークショップ「びはくルーム」  
鳥瞰図を描いてみよう

10月17日 [土] 13:30-15:30  
講師：青山 大介(鳥瞰図絵師)

青山さんの制作のお話のあと、鳥瞰図の技法で当館の建物を描きます。

会場：芦屋市立美術博物館 体験学習室  
対象：小学3年生以上 20名 \*要事前申込  
参加費：無料  
申込期間：9月1日[火]—10月3日[土]



## 芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25  
ashiya-museum.jp

### ◎アクセス情報

徒歩 | 阪神芦屋駅から南東へ約15分

バス | 阪神芦屋駅・JR芦屋駅・阪急芦屋川駅から阪急バス乗車、  
「緑町」停留所下車徒歩3分  
阪神芦屋駅①のりば(南向き) 系統1「新浜町」行き  
JR芦屋駅南口のりば 系統8「芦屋浜営業所前」行き/  
北側⑤のりば系統1「新浜町」行き  
阪急芦屋川駅①のりば 系統1「新浜町」行き

※併設駐車場1時間無料